

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価書（前期）

平成25年7月19日（金）

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：平成25年7月19日（金） 午後4時00分～

会場：敷島中学校校長室

参加者：学校関係者評価委員

西山 豊（委員長） 佐藤 広美 持原ひろ美

山田 淳子 長田 明美

（学校側）

新海 賢一（校長） 河野 良一（教頭）

I 学校側から提案された内容

- ・学校運営の概要（グランドデザイン）、学校基本情報、教育的課題、1学期の様子
- ・平成25年6月実施の教職員による自己評価と生徒アンケートの分析結果、及び課題点と改善策を示した自己評価書
- ・「創甲斐教育推進大綱」に示された学校教育の充実に関する、平成26年度目標数値と本年度、及び昨年度の比較（生徒アンケートの結果）、及びその改善策

II 協議された主な内容

学校側から提示された自己評価書及び生徒アンケートの結果に基づき、本校の教育活動や学校運営の状況について、課題点が正しく把握されているか、改善策が適切であるか等について協議した。また、学校運営に関することや生徒の様子等についても意見交換した。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

教職員による自己評価については、A評価・B評価が多く高い肯定率を示している。概ね良好と言える。また、分析もよくなされている。ここ数年来課題となっているPDCAサイクルや危機管理意識の高まりも見られるようになっている。今後も生徒の安全・安心の更なる確保を図っていただきたい。また、学習指導や生徒指導に関しても、地域や家庭が常に協力してやっていかなければならないと考えている。我々も敷島中のことが大好きなので、すばらしい敷島中であり続けるよう互いに頑張っていきたい。

II 特 徴

- ・学校長の教育方針を教職員がよく理解し、学級集団づくり、学習指導、生徒指導、学校行事等の場面できめ細かな対応ができています。
- ・生徒にとって居場所となる心安らぐ学級づくりやわかる授業をもとにして、学校力を高める努力をしています。
- ・生徒指導については、人間関係の構築を基本に粘り強くやっている。また、いじめ問題への対応も強化している。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・通学路の安全確保や自転車の乗り方等に関して、交通自治委員会による危険マップが作成されたことはとても良い。更なる安全確保のために、鍛練（本校独自の伝統行事）の移動時（島上条公園への移動）や不審者への対応も含めてSSCの継続配置をお願いしていきたい。
- ・学年によっては生徒指導上一部心配された部分もあったが、うまく流れている感じがする。軽率な行動から事故やケガにつながらないように引き続き根気強く指導していただきたい。
- ・今日のようなストレス社会においては、教師の健康管理も非常に大切である。管理職の気配り、適切な指導助言等により身体的・精神的な健康管理ができるよう望まれる。

※特記事項（意見交換の中で出されたもの）

- ・「敷島中の生徒はよくあいさつをしてくれる」という声を地域から聞く。また、大きな事件等耳に入ってくることもなかった。良いところはそのまま伸ばして行ってほしい。
- ・上級生になるに従い家での学習時間が少なくなるのは何故か、という質問も出た。塾での勉強が増えたり、一方で学習習慣が崩れたりしてしまう生徒も出てくるのではないかと、という意見もあった。
- ・先生方が健康で、笑顔で生徒に接することが大切だと思う。リフレッシュしながら頑張っていたきたい。
- ・先生方が一生懸命で本当にありがたい。一生懸命やれば、生徒の心にはきっと残るはずだと思う。
- ・子どもに関われるときは家庭、地域、学校皆で見てあげたい。いろいろな意見を出し合い前進していくことが大切である。
- ・PTA活動の一人一活動が定着され、朝のあいさつ運動や登校指導、鍛練への協力など学校とPTAが連携を深め教育活動に当たっている。また、今年はPTA便りも発行された。今後もこのような活動を推し進めていきたい。

記載責任者 甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員長

氏名 西山 豊 印